

震度6強の余震発生－緊急出動の要請あり －速報、新潟県チーム 県立新発田病院医療救護班

新潟県医療救護班 新潟県立新発田病院

渡 邊 雅 史

災害名：東日本大震災

派遣先：宮城県石巻市

派遣期間：2011年4月6日～4月8日

活動内容：石巻市内 避難所(石巻市立女子高校、住吉小学校)での診療

〈県立新発田病院医療救護班〉

医師1名(渡辺)、看護師2名(藤井、田村)、薬剤師1名(田川)、事務1名(木村)

〈4月6日〉

病院公用車(セレナ)で現地へ向かう予定であったが、県庁から新潟交通のバスを出してもらえろという連絡が前日にあった。これは大変ありがたかった。

5:45 県庁集合。晴天、気温0℃くらいで4月にしては非常に寒い。医療用品、食料、水、寝袋などをバスに積み込む。

6:00 矢澤院長、堂前副院長、県庁の職員の方々に見送られながら県庁出発

9:00 菅生SAにて給油。心配した給油所の混雑は全くなかった。自衛隊車両多数あり。仙台南ICを過ぎてから一部混雑はあったが道路状況は比較的良好であった。

10:40 石巻赤十字病院到着。2階の日赤災害本部にて救護班登録を行い、スタッフ(沖縄日赤の方)から説明を受けた。エリア4(石巻南地区)には3,400名強の避難住民がいるとのこと。エリア幹事(兵庫県医師会)との連絡方法(本部から貸し出されている携帯の電話番号)を教してもらったが、何度かけても全くつながらなかった。結局、本部からの携帯は使用していなかったらしく、7日のエリアミーティングの顔合わせで初めて連絡がつくという状況。

医薬品、食料などの荷物をバスから現地活動用の車両アルファードに積み換え。

12:40 県立がんセンターチームから引継ぎを受ける。

13:45 県立がんセンターチームと共に市立石巻女子高に向かい、災害支援ナースとの顔合わせ。患者さんの状態報告や医薬品の搬入など診療準備を行う。ここは高台にあるため津波の影響を受けず、電気、ガス、水道復旧済み、トイレ使用可。現地スタッフがしっかり管理しており、土足禁止で玄関でスリッパに履き替えるなど衛生状態も良好。

14:00 診療開始。引継ぎに合ったとおり、咳、痰などの上気道炎や花粉症、下痢・腹痛などが多いが、衛生状態の改善や前任チームの医療支援の効果もあり「良くなってきました」という患者さんが多い。高熱の患者さんなし。ノロ疑いで2名隔離されていたが、この方たちも改善傾向。院外処方方はメロンパンに依頼。脱水のため点滴1名。往診5名を含む15名程度の診療。食料、飲料水、灯油、マスク、石鹼、アルコールなども特に不自由はしていないとのことであった。

17:10 診察終了し石巻赤十字病院へ向かう。夕方は特に混雑が激しい。石巻市内もガソリンスタンドでの給油の混雑はないが、洗車が混雑している。水は十分にある様子。

18:00 全体ミーティング。夕方は道路事情が悪いため、ミーティングに出席すると往復2時間が無駄になるとの意見有り。日赤でのミーティングにはエリア幹事のみが出席し、翌日のエリアミーティングで各メンバーに確実に連絡事項を伝えることで承認された。自衛隊キャンプ地でガソリン給油可能との連絡有り。

19:00 3食ともインスタントラーメンやパンですませる覚悟で現地に入ったが、日赤付近のお店はコンビニ、弁当屋、食堂など営業しているところも多い。温かいお米の食事がしたいということになり食堂で丼ものを食べた。

20:00 宿舎である永井いきいき交流センター到着。ガス、電気、水道など問題なく使える。風呂も使用できるそうだが、誰も使っていないとのこと。日赤チーム、長野チームなどの人数、豊富な食料に圧倒される。

県立新発田病院本部に必要物品の連絡。クリップボード、点滴用S字フック、点滴固定用テープ、ハンドクリームなど。

22:00 消灯。夜間余震2～3度あったが、そう大きなものではなかった。

〈4月7日〉

5:00 起床。

7:00 宿舎を出発し、午後から診療予定の住吉小学校へ向かう。住吉小学校は旧北上川河畔の低地にあり津波の被害をもろに受けている。周辺はがれきの山で、学校へいたる道の両脇にはごみ、家具、家電、車などが山積みになっておりようやく車1台が通れる程度。50m以上前から対向車がないことを確認しないとならない。

7:30 住吉小学校にて現状把握。校庭にも校内にもヘドロが積もり、自衛隊・米軍が除去作業をしている。電気・ガスは絶たれており、簡易トイレは5つあるのみで衛生状態は劣悪。水道は体育館脇の水道がかるうじて生きている。ここはもと指定避難場所ではなかったらしく、救助・支援が遅れているらしい。周辺住宅の電気・水道は復旧しているとのこと、小学校のみ取り残されている。近隣の住民は昼間は自宅の片付けを行い、夜間は寝る場所を求めて学校に来るとのこと。土足のまま校内に入り、教室に入る時は靴を脱ぐ。ヘドロだらけのため、清掃が進むまではやむをえないか。スリッパが不足しているとの要望あり。学校のプールに車が浮いている。

8:10 市立石巻女子高に看護師2名を降ろし現状把握してもらう。この間に他の3名は石巻中学校に向かう。

8:40 兵庫県医師会が診療所を開いている石巻中学校にてエリアミーティング。教室のひとつが薬品保管庫になっており、膨大な種類・数の医薬品あり。院外処方箋をほとんど利用せず自前でまかなっているらしい。院外処方箋（メロンパン制度）の存続を確認する。水没した石巻市民病院が、生き残ったPCを用いてかかりつけ患者さんの紹

介状作製をしてくれるとのこと。震災から約4週間たった今でも、医療支援が介入しているかの確認すら取れていない避難所が3か所（グランドステート石巻中央、鳥屋神社、穀町マンション）あるとのこと。本日、兵庫県チームがそれらを巡回し確認作業をする。

学校の池の水で母親が子供のおもちゃを洗っている。

9:30 市立石巻女子高にもどり診療開始。脱水の患者さん、今日も点滴。左胸に肺雑音強く呼吸苦しさを訴える患者さんを日赤に紹介。

女子高の新潟県診療所は日当たり良好。天気がよくぽかぽかとしている。校庭ではソフトボール部が元気に部活動をしており、一瞬避難所であることを忘れる。住吉小学校とは天と地ほどの差がある。往診を含め10名ほどの診療。

11:30 診療終了し、診察室でお昼（カップヌードル）を食べる。

午後の診療まで少し余裕があったため、海岸沿いの津波被害の大きかったところを視察。町ががれきの山なのに対し、こちらはほとんどが流されており、建物の骨組みや横転した重機、巨大な赤い鯨肉缶詰の看板などを残すのみ。

13:00 住吉小学校到着。透析用のポリタンク8個に唯一使える体育館脇水道で水をつめ搬入し、手洗い用とする。玄関で長靴のヘドロをおとして校舎に入るがそこらじゅうヘドロだらけ。

13:30 診療開始。1年生の教室が診療所となっている。黒板には3月11日（金）日直、かめ山あかねさん、さむさにまけないようにがんばろうの文字。4週間前から時間が止まっている。最初の患者さんは診察室としてお借りした教室で1年生を担当している先生。2人のお子さんが上気道炎、花粉症で苦しんでいるとのこと。先生から児童の手指消毒用のアルコールスプレー、ビタミン補給のための野菜ジュース、子供用マスクなどの要望あり。本部に要望提出する。こちらの避難所も下痢や呼吸器感染症が多い。要注意の方は高齢の呼吸器感染症の方とWPWを既往にもつ嘔吐・下痢のお二人。明日まで内服薬で経過観察することにしたが、どちらも病院には行きたくない様子。近所の方の熱傷の創処置を行うが、保護パットがないため消毒用綿球などと共に本部に要望連絡。

16:30 診療終了。夕方のミーティングがなくなっ

たため、時間的に余裕がある。

19:00 夕食はびっくりドンキーでゆっくりと食事をする。その後宿舎へ。

22:00 消灯

23:32 震度6強の余震発生。激しい縦揺れがあり何か落下するような大きな音が聞こえた。室内は停電となり非常灯のみ点灯。携帯TV・ラジオで宮城県沖を震源とするM7.4の余震であることが判明。チームメンバーは全員無事。同宿の日赤チームが本部と連絡を取っているため、指示を待つことにする。

〈4月8日・・・余震による緊急出動の要請あり〉

0:20 石巻日赤本部から救急外来に患者が搬送されて来ているため、緊急出動するよう要請有り。外は信号・街灯すべて消え車のライトのみが頼り。

0:50 石巻日赤到着。正面玄関には10数名程度の患者さんがいて日赤スタッフがトリアージを行っている。今のところスタッフで対応可能とのことで、待機指示が出た。一時、津波警報が出て緊張が走ったが、解除されたと院内一斉放送あり。

2:00 ほとんどの患者が緑タグとのことで待機指示は解除された。高速道路は通行止めになり、一般道で宿舎へ向かう。宿舎は非常灯も含めすべて停電状態。

5:00 翌朝も停電は続き、明るくなってから宿舎の壁に大きなひび割れができ壁の木枠がはずれていることに気付いた。

7:00 宿舎出発。高速道路は使用可能となっていた。

8:00 石巻日赤到着。昨日までは感じなかった生臭い空気が漂っている。全体ミーティングであったが、会議室はまばらで来ていない(来られない?)チームが多いようだった。佐渡総合病院、親松先生と顔合わせ。石巻市内、電気、ガス、水道など止まっており、復旧の見込みは不明。夜間の救急外来では30名の受診があり、うち黄10名、他は緑だったとのこと。現地や経路の安全が確認できるまでは待機の指示が出た。12時に再度ミーティングを行うとの連絡有り。

8:30 この間を利用して、自衛隊キャンプにてガソリン給油(無料)。ドラム缶から手回しポンプで給油してもらった。

9:00 無理のない範囲で安全確認しながら住吉小学校へ向かうことにした。道の両脇の瓦礫が少し崩れているが、車の走行に支障なく住吉小学校に到着。状況把握と安否確認、救急・重症のみの診療を行うこととした。建物の被害なし。唯一水が出ていた体育館脇の水道も断水。気がかりであった2名の患者さんは、高齢の呼吸器感染症のかたは安定していたが、WPWを既往にもつ消化器症状のかたは症状悪化しぐったりとしていた。日赤に救急搬送することにしたが、119番が全くつながらず。校庭でヘドロの除去作業をしていた自衛隊の方に搬送をお願いし引き受けていただいた。

11:00 市立石巻女子高到着。状況把握と安否確認のみ行う。建物の被害なし。電気、水道一時ストップしたが、電気のみ復旧。状態悪化した患者さんなし、とのこと。

12:00 石巻日赤にて全体ミーティング。連絡事項:三陸道全面通行止め。西内海橋通行止め。相野田で落石。石巻市、東松島市ほぼ全域断水。電気は復旧。この地震に伴う火災発生なし、とのこと。次のチーム(上越総合病院、上越地域医療センター病院、県医師会、糸魚川市医師会、村上総合病院、木戸病院)へ引継ぎ。総勢16名と人数が増え頼もしい限り。2か所の避難所の終日診療に加え、まだ医療支援が不十分な避難所への介入も可能となると思われる。

復旧しかけたライフラインがまた寸断されてしまった。少しずつ改善していた衛生状態が悪くなるのは避けられない。町では給水車に長い列ができてきている。ガソリンスタンドの洗車コーナーがにぎわっていたのが嘘のようだ。

15:00 任務終了し帰路につく。県のバスを出していただいたおかげで、休息をとりながら帰ることができた。

19:50 無事県庁に到着し、解散。